

## 令和4年度 事業計画

### 1 基本方針

爆発的な感染力により、世界的に拡大した新型コロナウイルスは、近代史の中でも突出した犠牲者を生み出し、発生して3年目を迎えた現在でも、いまだ終息の確たる見通しもない状況の中にあります。

世界規模で、政治・経済・文化・社会活動等にも莫大な損失をもたらし、回復の目途も非常に厳しいものとなっております。

このような情勢の中、当センターは令和4年度の事業計画を作成し、その確実な実行を目指して活動を展開してまいります。

しかし、消費税10%の引き上げにともなって、令和5年10月より施行が予定されている「インボイス制度」の導入は、センターの存立を左右する深刻な制度であります。

会員の配分金には、消費税分が含まれて支給されておりますが、一人ひとりの配分金額が少額なため消費税の納税が免除されております。

ただし、インボイス制度が施行された場合、配分金が消費税の支払い対象となり配分金に対する納税額は、年間で約4,500万円の負担増となります。

センターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源に余裕は無く、捻出方法は、就業先に料金の値上げを要請するか、会員の配分金から消費税分を引き下げることが対策となります。

とはいえ、料金の値上げは発注者のセンター離れを引き起こし、仕事が大幅に減少することが考えられ、配分金からの捻出は就業に対するモチベーションの低下と収入減が呼び水となり退会の理由となる恐れがあり、いずれもセンター運営の衰退に繋がることを予測できます。

このインボイス制度の実施を阻止するために、事務局ではプロジェクトチームを作りこの問題に対し全力で取り組み、適宜、情報を開示してまいりますので会員の皆様もこのインボイス制度の深刻さを認識され、一致団結し解決に向けご協力をお願いいたします。

### 2 基本計画

- (1) 運営基盤の強化
- (2) 会員増強
- (3) 就業率の向上
- (4) 安全就業への取り組み
- (5) 研修会・講習会の開催
- (6) 社会貢献の推進と普及啓発活動
- (7) シルバー学校の継続

### 3 事業実施計画

#### (1) 運営基盤の強化

- ① 新型コロナウイルスの感染防止に配慮し、会員の就業の継続に努めてまいります。
- ② 事業運営の根幹となる4部会・1委員会は目標を掲げ、横の連携を図りながらセンター事業推進の充実を図ってまいります。
- ③ 令和5年10月1日から「インボイス制度（適格請求書等保存方式）」が導入されようとしております。そのため、インボイス制度についてプロジェクトチームを立ち上げ事務局・役員一丸となり研究してまいります。

#### (2) 会員増強

- ① 入会説明会では、チエブクロー（マスコットキャラクター）が、就業を解説する映像で親しみやすく、わかりやすい説明会を開催し、会員増加に繋がめます。
- ② 入会説明会は毎月開催します。また昨年好評であった女性限定の入会説明会も年2回実施します。
- ③ 入会説明会での就業体験は、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら実施し、参加型の臨場感あるものとします。
- ④ 市内各地区の自治会の定例会議等に参加し、センターのチラシ回覧やポスター掲示等に協力を依頼します。
- ⑤ 高齢者施設や公民館等にパンフスタンドを設置し、ポスター掲示やチラシの配架を行い、環境美化整理に努め、センターの周知を図ります。
- ⑥ 昨年、入会増に効果のあった市役所ロビー・ハローワークでの入会相談会を今年も継続して実施します。

#### (3) 就業率の向上

- ① 動画による就業の「見える化」を継続し、仕事の内容や共に働く仲間の姿を通じ仕事の内容がわかる紹介を行い、就業率の向上を図ります。
- ② 新たな職種班として、お客様から細やかな要望のある仕事にお応えする「トータルサポート班」を立ち上げます。
- ③ 就業先の訪問では、会員の就業状況を確認し改善に努めてまいります。
- ④ 複数の就業が可能な会員には紹介時、ダブルワークを推奨してまいります。

#### (4) 安全就業への取り組み

- ① 『危険 予知 トレーニング (KYT)』は、会員が就業するうえで、どの職場にも共通する取り組みです。就業する本人の目線で、作業工程や職場に潜む危険性を考え解決することでケガや事故を未然に防ぐのが目的です。会員への安全就業の情報発信を行い、事故ゼロを目標にKYTの推進に努めてまいります。

- ② 草刈り作業は、カルマーを使用することで、飛び石事故を防ぐ効力が絶大であります。カルマーは、除草班に限らず肩掛け機械を使用する全ての就業先で導入することを発注者および就業会員へ働きかけてまいります。
- ③ 様々な角度で安全就業に注視することを目的に各部会の理事による「安心・安全の日」の巡回を実施し事故やケガが発生しないよう調査分析を行います。
- ④ 就業時安全研修会は、参加する会員が「聞く」だけの研修ではなく「共に考える」をテーマとした研修会とし、会員自ら考え行動する研修会を開催します。

#### (5) 研修会・講習会の開催

- ① 会員の長年培った知識や経験を更に向上できる研修会を開催します。
- ② 加齢に伴い、家に閉じこもりがちになるフレイル予防の研究を行い、会員および市内の高齢者へ、運動を通じて社会参加を呼びかけます。
- ③ 研修会・講習会后に実施するアンケート調査の分析に努め、『会員の声』を参考とした研修会を開催してまいります。
- ④ 研修会では、実際に起きたお客様からの苦情や会員同士のトラブルなど、実例を紹介し再発防止を兼ねた研修会を開催します。
- ⑤ テーマ別研修会で得た専門的な情報や知識を紹介し会員のスキルアップを図ります。

#### (6) 社会貢献の推進と普及啓発活動

- ① 12月に予定している清掃ボランティアは、春日部市の環境美化に貢献できるよう会員一丸となって取り組みます。
- ② 高齢者施設等で交流を深める音楽ボランティアは、新型コロナウイルス感染拡大状況に十分注意を払い開催いたします。
- ③ 全戸配布の「かすかべシルバー」は、センター事業の魅力が伝わる内容で年2回発行し、市民の皆様へ認知度を高める広報ツールの1つとして活用します。また、「ゆうゆうだより」は、会員間のコミュニケーションを高める役割を目指し年4回お届けします。
- ④ センター名入りのブルゾンを新たに制作し、自転車整理業務などで着用し就業会員同士の仲間意識や責任感を高めて就業するとともにセンター事業の周知を図ります。
- ⑤ センター事業の紹介や会員募集を呼びかけるホームページは、定期的に内容を更新することで、お客様に新しい情報を提供するよう努めてまいります。

(7) シルバー学校の継続

- ① 市内在住の60歳以上の方を対象に「シルバー学校」への参加を募り、センター事業の周知を図ります。
- ② 「植木剪定」や「襖・障子・網戸張り」の学校を開催し技能・技術の継承を展開します。
- ③ 「シルバー学校」を通じて会員拡大を図り、就業体制を整備し発注者への対応期間の短縮改善に努めます。